

城取博幸の

アメリカ合衆国準州 グアムのスーパーマーケット見聞録

2011年 12月

城取フードサービス研究

城取 博幸

<http://www.shirotori-f.com>

グアムの概要

- 正式名称：アメリカ合衆国準州グアム
United States of America (Guam)
- 首都：ハガニア
- 人口：約 15 万 5000 人
- 面積：約 549km²
- 人種・民族：チャモロ人、フィリピン人、アメリカ人、その他
- 宗教：キリスト教
- 言語：英語、チャモロ語
- 通貨：米ドル
- 時差：+1 時間（グアムが正午のとき、日本は午前 11 時）
- 歴史：

グアムの歴史

参考資料 <http://ja.wikipedia>.

グアム (Guam もしくは Guahan) は、太平洋の島である。1898 年の米西戦争からアメリカ合衆国の領土になった。1941 年から 1944 年までは日本軍が占領統治し、「大宮島（だいきゅうとう [1]）」と呼ばれた。

経済面では、アメリカ軍と日本からの観光客が重要な位置を占めている。

グアム島に人類が住み着いたのは B. C. 3000 年～2000 年頃で、東南アジア系民族チャモロ人がマレーシアやインドネシア、フィリピンから航海カヌーに乗って移住してきたことに始まると考えられる。

1521 年にマゼランがヨーロッパ人として初めてグアム島に到達。

1898 年にアメリカとスペインの間で勃発した米西戦争にアメリカが勝利し、同年のパリ条約によりグアム島はフィリピン、プエルトリコとともにアメリカ合衆国に割譲された。

1941 年 12 月 8 日に太平洋戦争が勃発。日本海軍は真珠湾攻撃の 5 時間後、グアムへの航空攻撃を開始した。同月 10 日日本が占領したが、1944 年 8 月に米国が奪還（グアムの戦い）した。

以後、戦争終結までアメリカ軍の日本本土の爆撃拠点として活用された。
重要な基地のひとつとしてグアム島は活用され、近年は日本からの観光客を中心とした観光地、リゾート地として発展を遂げている。

島の面積の 1/3 をアメリカ軍用地が占めている。

グアム島は、朝鮮半島、台湾、南沙諸島、フィリピン、インドネシア、オーストラリアとあらゆる場所に緊急展開できる戦略上の要地であり、米準州でもあるので、西太平洋の礎石としてその価値を見出されている。

1990 年代は、基地は縮小傾向にあった。

2000 年、ジョージ・W・ブッシュ政権に変わって以降は、地球規模の米軍再編の影響で、世界戦略を見据えた軍事拠点化を進めることになり、兵力の増強が順次実施されてきた。2004 年には、グアム島周辺を調査した中国人民解放軍海軍の漢級原子力潜水艦が行き帰りに日本の領海侵犯を行った漢級原子力潜水艦領海侵犯事件が発生した。

在日米軍再編の影響により、沖縄本島に駐屯しているアメリカ海兵隊 7,000 人がグアムに移駐する予定であり、キャンプ瑞慶覧から司令部も移転する予定である。

この部隊の受け入れのための費用を日本政府が 59%負担することで日米両政府が合意した。上記の基地移転には先住民の一部から反発がおきているが、大半の住民はかつて米軍基地が縮小された事で経済的に大きな打撃を受けたため基地・観光による経済的観点から賛同している。

グアムのスーパーマーケット

ペイレス・スーパーマーケット

グアム内に 7 店舗あって、利用が便利なのは、24 時間営業のマイクロネシアモール店。マイクロネシアモールのペイレス・スーパーマーケットは、グアムでは一番広いスーパーマーケット。近くには 24 時間営業のデニーズもある。

同じく 24 時間営業のアガニャショッピングセンターにハガニア店がり、そこは、グアムで二番目の広さです。ペイレス・スーパーマーケットはサイパンにも店舗がある。

10 数年前に一度訪れたことがあるが、改装のされた様子もなく店舗は古くなっている。600 坪程の一般的なスーパーマーケットであるが、「これがナンバーワンか？」と思うほどである。

「ナンバーワンにあぐらをかくと店はこうなる」ことを実感。

とにかく鮮度が悪い。くだものは腐ったものが平気で陳列してある。

それでも、「日本のくだものコーナー」もあり、それは、鮮度、形ともよく、すぐに「日本産」だと分かる。

鮮魚は一部生魚がトレーパックされているが、殆どが冷凍食食品。グアムでもマグロはよく食べるようである。ドライ食品やチルド食品はアメリカのスーパーそのままの品揃えである。

「何故こんなに鮮度が悪いの！」とガイドのゼニスに聞くと、「商品は殆どカリフォルニアから船便で運んでくる。だから仕方ないね」という。それで、フィリピンが近いのにもかかわらず「US バナナ」を売っているのか納得できた。

「それでは、この腐ったリンゴを買うのか？」と言うと、「それは買わない」と答える。

「しっかりと見て買わないとね」と平然と答える。

「仕入事情」と店の「商品管理」は別である。

価格は、肉とドライ食品は日本より安い、他はあまり日本と変わらない。

TPPがスタートすると、「日本にもこのような品揃えのスーパーマーケットが出現するのかな」と日本のスーパーマーケットの将来が少し見えたような気がした。

グアムの食糧自給率は、5%以下だという。95%輸入でも店はできる。

なにか珍しいものはないかと探すと、菓子売場に「豚の皮の揚げ菓子」を見つける。豚の皮を油で揚げて、チリ味やビネガー味のフレーバーをつけたもの。日本の惣菜でも売れている「鶏皮のパリパリ揚げ」によく似ている。これは日本でも売れると思う。

どこのスーパーでも大陳してあった。

グアムは一次産業、二次産業がなく、三次産業のみの島

グアムには、畑、水田、くだものの果樹園がない（観光用の果樹園や家庭菜園はある）。

それに、牛や豚、にわとりも飼っていない。一次産業がないのだ。確かにグアム産のくだものを日本で見たことがない。

また、工場もない。建築業はあるが、そこで働いているのは、フィリピン人とバングラディッシュ人で、グアムの人はいないらしい。

残るのは、ホテル業、旅行業、飲食業、銀行、保険、通信、運送業などの、第3次産業である。

レストランも安くはない。ホテルのレストランで普通の食事をしても、ティップ込みですぐに、30ドル〜40ドル位になってしまう。中国で300円〜500円で豪華な食事をしていた私にとってはとても高額な出費になってしまう。

タクシーも少し乗っただけで20ドルくらいは軽くいく。日本と価格は同じ位である。

これも中国の200円〜300円とは大違いである。

中国の相場の約10倍、円高ではあるが、円高のメリットはあまり感じない。

マイクロネシアモールのペイレス・スーパーマーケット



店舗入口



店舗看板



店内



青果売場



くだもの売場



野菜売場



料理用バナナ



U S バナナ



日本のリンゴ



精肉売場



鶏肉のパック



クリスマスリーフレット



魚売場



魚自店パック



マグロパック



チルド売場



卵パック



牛乳パック



チルド商品売場



ビタ ミン飲料



ドライ食品売場



豚皮のスナック



アイスクリーム



クリスマスギフト

グアムのK-マート

マリンドライブ沿いにあるアメリカ資本の大型ディスカウントストア。食料品はもちろん、衣料品や生活雑貨、おもちゃ、おみやげまで品ぞろえが豊富。アメリカンなキッチン用品やアウトドア用品の品ぞろえも多い。中には、ファーマシーやフードコートも併設している。

入口を入ると、クリスマスの定番「クリスマスキャンディー」や「お菓子の家」が大陳されている。店内は2000坪ほどの広さで、なかなかのにぎわいである。

観光客も多いことから、おみやげ用の「ドライマンゴ」もレジエントにフック陳列。

レジ待ちをしている間に思わず手がでしてしまう陳列方法だ。

食品売場は、入口を入れてレジの前を進んだ奥にある。

野菜、果物はコンコースのファーマシーの前の平台一台だけに陳列。

ロスの出る葉物野菜は品揃えされていない。

魚、精肉、チルド商品、冷凍食品、アイスクリームは全てリーチインケースに収められていて、ロスがでる売り方ではない。それでもかなり広い売場スペースを取っている。

冷凍食品にはもちろんアメリカらしく、ジャンクフードの代表のような電子レンジ対応の「プレートランチ」もある。それだけでなく、ドライ食品もエンド1本使っている。

ガイドのゼニスに「これをよく食べるのか？」と聞くと「よく食べる」という。
クリスマスシーズンだけあって、グリーティングカードの売場は、ゴンドラを3台に配置。
低価格の衣料品やおもちゃの品揃えも多い。

以前、グアムにも「J C ペニー」があったようだが、K-マートと合併後に閉店したらしい。
グアムではナンバーワンのディスカウントストアである。
店のイメージは、赤を基調にしているため、アメリカの「ターゲット」に近いものがある。
店のレイアウトもシンプルで買いやすい売場だ。

グアムのK-マート



店舗看板



店内



クリスマスキャンディ



お菓子の家



広めのコンコース



ドライマンゴフック陳列



グリーティングカード



くだもの平ケース



ファーマシー



菓子売場ゴンドラ



ワンプレート商品



ドライ食品売場



冷蔵、冷凍ケース

リーチインケース

フードコート

グアムのコスト・ユーレス

倉庫型のホールセールクラブそのままであるが、会員制ではなく普通に入店できる。

店内は、キャッシュ&キャリーの「コストコ」、「メトロ」そのものの売場である。

クリスマスシーズンであるため、「サッカーゲーム台」「ビリヤード台」などの大型のおもちゃが通路に並べられている。価格の 200 ドル以下と手ごろである。

家の狭い日本では考えられないギフトである。

アメリカでは当たり前の「バーベキューグリル」も扱っている。

「まだこのサイズは小さい方だ」「このサイズの 2 倍～3 倍の物を使う」とガイドは言う。

陳列ケースは手が届く範囲に大型商品が陳列されて、それから上はパレットの在庫ストック。地震のある日本ではこの陳列は難しい。

コンコースを進むと、左側に裏から陳列ができるチルド食品の冷蔵庫を兼ねたリーチインケース、右側が多段ケースの野菜売場となっている。青果売場の陳列は段ボール陳列あり、バラ陳列ありの定番が決まっていないような状態。

ここでも野菜は殆どアメリカからの移動であるため、鮮度はあまりよくない。

デリカは、おなじみの「ロテサリーチキン」と「ピザ」が販売されている。

「ロテサリーチキン」は、1 羽 7.49 ドル（約 600 円）、アメリカのサムズクラブの 3.99 ドルに比べて約 2 倍、それでも日本の二分の一の価格である。トレーではなく、オシャレな袋に入れて販売している。たぶん、皮のパリパリ感は失われているはずだ。珍しく手羽元ローストも販売されている。

グアムの食品小売業の特徴は、「スーパーマーケット（ペイレス・スーパーマーケット）」「ディスカウントストア（K-マート）」「ホールセールクラブ（コスト・ユーレス）」「韓国食材のスーパーマーケット（カリフォルニア・マーケット）」「日本食材のスーパーマーケット（東京マート）」と業態と取扱商品がはっきりとしていることだ。

かつてはアメリカ本土の「セーフウェー」も出店していたらしいが、今は撤退している。

それだけ、閉鎖商圏で厳しい市場でもある。

日本のように、同類のスーパーマーケットがひしめきあっている状態ではない。

グアム プレミア・アウトレットのコスト・ユーレス



店舗外観



店舗入口



店内



B B Q グリル



サッカーゲーム



ビリヤード台



冷蔵庫兼リーチンケース



冷凍食品



青果売場



精肉売場



牛肉ブロック



骨着き肉



丸鶏真空パック



パン売場



ロテサリーチキン



手羽物ロースト



クリスマスギフト

ロテサリーチキン



店内

冷蔵庫入口



駐車場

グアム プレミア・アウトレットの「カリフォルニア・マート」

「カリフォルニアマート」は韓国食材を主に扱うスーパーマーケット。

グアム「プレミアムアウトレット」の近くにあり、オーナーが韓国系の方なので、韓国系の食材がとても充実している。近くには「アウトレット」の他に、「コストユーレス」「東京ストア」などがある、商業集積型のショッピングセンターである。

売場の広さは、300坪スタイルの典型的なスーパーマーケット。特に東洋人の客がよく入っていて繁盛している。商品の品ぞろえもよい。

日本人でも行きたくなるスーパーマーケットである。

鮮度は他のスーパーマーケットより鮮度がよく、品揃えも多い。

野菜売場の次が精肉売場で、焼肉用のスライス肉、プルコギなどの漬け込み肉が豊富に品揃えされている。チルド商品は、漬けもの、麺類、練製品、牛乳、ドリンク類、ヨーグルトなど日本人にも十分な品揃えである。

たくあんとチルド麺の種類とボリュームは日本の小型店より品揃えがよいくらいだ。

鮮魚売場は、丸魚の対面と、チルドの切り身魚がトレーパックされている。グアムにしては生魚が充実している。魚の頭や魚のアラが売場に品揃えされているということは、それだけ生魚をさばっている証拠だ。

何といっても一番は、韓国デリカが充実していること。

「キムチ類の量り売り」「韓国珍味の量り売り」「韓国のり巻」「チャプチェ」「チジミ」「豚の皮の唐揚げ」「豚足のロースト」「焼いた牛肉串」「プルコギ用の漬け肉」など日本でもなじみのある料理ばかりだ。日本人でも有難いデリカである。

ただ余計なことかもしれないが、トレーパックされた商品のラベルの位置が、左右上下バラバラである。気になるのは几帳面な日本人だけかもしれないが。

グアムの重量表示はポンド

グアムの重量表示は、ポンド。グアムでは野菜、肉、魚類はポンド表示です。ちなみに1ポンドは約450グラムです。またオンスという表示もあり、こちらは1オンス約28グラム。

野菜や果物は、一個、一袋いくらというのではなく、重さで売られているので、ビニール袋に欲しいだけいれてレジに持って行く。重さで料金が決まるので、くれぐれも違うものを同じ一つのビニールに入れない様に注意する。

ビールやワインなどのアルコール類は24時間営業のスーパーでも、夜23時までの販売。また、21歳未満にはアルコール類を販売してくれないので、自分の年齢を証明するIDが必要である。扱いはアメリカ本土と同じである。

グアム プレミアムアウトレットのカリフォルニア・マート



プレミアムアウトレット



店舗看板



店舗入口



店内コンコース



大陳コーナー



青果葉物売場



くどもの売場



チルド売場



漬物売場



チルド売場



魚のアラ



マグロパック



対面丸魚



精肉売場



弁当売場



キムチの量り売り



韓国のり巻き



チャプチェ



鶏の唐揚げ



ロースト肉スライス



お好み焼き



チジミ



炒め野菜セット



やきとり



漬け込み肉



プルコギ



韓国珍味量り売り



四島ツアー 最初から計画が狂う

今回の私の計画は、成田→グアム→ロタ→サイパン→テニアン→サイパン→グアム→成田であったが、グアム→ロタのチケットが満席で取れない問題が発生した。

仕方なく、ホテルのコンシェルジュと相談して、グアム→サイパン往復のチケットを手配する。サイパン側からロタ往復にチャレンジすることにした。

日本からは、航空券はグアム往復と初日のホテルと最終日のホテルしか予約していない。

現地で4島めぐりのチケットとホテルを予約をせねばならなかった。

この時のホテルのコンシェルジュには感心した。

日本語はあまり話せないが、手際よくプランを出して相談にのってくれ、困っている私にチケットの購入まで手伝ってくれた。これぞコンシェルジュ。

ここで、「サービスとは何か」を考えさせられる。

グアムからサイパンへ移動

空港へは必ず2時間前には行くこと。グアムからサイパンへは、「コンチネンタル航空」が飛んでいる。出発は朝7時。「まあ、朝も早いので1時間半くらい前で間に合うだろう」と思い空港に着くと、そこは、各航空会社のカウンターに長い列ができています。

「コンチネンタル航空」のカウンターを探してもなかなか見つからない。あせって係員に聞くと「ユナイテッド航空のカウンターだ」と教えてくれた。

カウンターに向かうと、そこは長蛇の列。隣に並んでいた中年の日本人夫婦？らしき男性に「コンチネンタル航空のサイパン行くはここでいいんですか？」と尋ねると「このようです。何時ですか？」と聞かれたため、「7時出発です」と答えると。

「それは少しヤバイですよ」と係員に「サイパン！、サイパン！」と声をかけてくれた。親切な人だなと感謝する。

余計なことだが、海外旅行ではいろいろな事情の人がいる。

「このカップルは絶対夫婦ではないな」と直感する。その理由は、まず、女性はその男性から一歩引いて私の視界に入らないように立っている。男性との会話には入り込まず黙っている。顔を合わせても視線をソラスなどの行為をとる。

まあ、どうでもいいことだが、ヒマですから……

空港内を走り、飛行機に乗れたのは出発の5分前。すると、「乗り継ぎ便が遅れていて、あと20名のお客を待っています」との機内アナウンスが流れる。

結局、離陸したのは1時間遅れの8時であった。だいたいこんなものである。

しかし、空港へは2時間前に行かないと、余裕を持った行動ができないと反省する。

グアムからサイパンの飛行時間は1時間。

サイパンに到着しホテルのツアーデスクに向かう

グアムからサイパンまでの飛行時間は約 1 時間。サイパン空港に到着し、タクシーで日本人客が多く泊っているホテルへと向かう。正直言って海外で日本の旅行社のツアーデスクを利用したことはあまりなかった。事情がよく分からない。

今回は楽をして、「ホテル内の日本の旅行会社のツアーデスクにホテルの予約と、ロタ往復の航空券を予約」をしようとツアーデスクへと向かう。

「知らなかった！」 日本の旅行代理店とは全く違う。

上記のことを話すと、「ここではライセンスを持っていないため、ホテルの予約もエアーチケットの予約もできません。ツアー企画のみの取り扱いです」と言われる。

それでは、「ロタ日帰りツアーか 1 泊ツアーをお願いします」というと、「現在、ロタツアーは扱っておりません」といわれる。「チケットはご自分で手配してください」と、ムツとする返答をする。

ライセンスを持っている旅行代理店の紹介もしない。全然役に立たない。

仕方なく、自分でホテルのフロントに向かい部屋を予約する。チェックインは 2 時ということであるため、その間にロタ行きのチケットの購入を考える。

ロタ往復のチケットを購入

地元のフリーダムエアーが「グアム→ロタ→サイパン」「サイパン→ロタ→グアム」に 1 日 2 便就航していることは知っていた。

ガラパンの免税店の近くに日系の、「旅行者のミタ（三田）」があるとのことで、タクシーでそこへ向かう。

すると、そこは、「土曜日で休みであった」

こうなれば意地である。チェックインまで十分時間があるためストレスは感じない、そこから、空港のフリーダムエアーの搭乗手続きカウンターまでタクシーで向かう。

「カウンターでロタ往復のチケットを買いたい」というと、「ここでは発券はできない。事務所で買ってくれ」と近くの事務所の場所を教えてくれる。

トコトコと 5 分ほど歩き、倉庫のような建物の事務所を見つける。

「ちょうど 1 席だけ空いています」とのことで、往復 2 1 9 ドルでチケットを即購入する。

サイパンにいる時に、北朝鮮の金正日 北朝鮮総書記死亡のニュースが流れる。

運命のいたずらというのか、「1 2 月 1 9 日」は、韓国・李明博（イ・ミョンバク）大統領の誕生日（70 歳）、結婚記念日（41 回目）、大統領選挙当選記念日であり、祝賀イベントが急きょ中止となったことを伝えた。

サイパンでは、「韓国 李明博大統領に、北朝鮮からビッグなプレゼントが届いた」と皮肉

って報道しているメディアもあるらしい。
一つの時代が終わろうとしている。

ロタ島はそんなに人気があるのか
そこで疑問を持つ。「フリーダムエアーはなぜネットで予約ができないのか」「ロタ島へは
確か30人乗りの相発機のはず、チケットが取れない程人気があるのか」「それなのになぜ
ツアーがないのか」

理由は当日になって分かった。
とにかくチケットはゲットできた。あとはホテルにチェックインするだけと、フリーダム
エアーの事務者からサイパン空港まで戻る。
「タクシーがない」航空機が発着しない時間以外はタクシーは常駐していない。

個人旅行の人へ貴重な情報を提供しよう。
ガイドブックには書いてない情報だ。
「タクシーの予約は、空港の外にある警察事務所をお願いします。」
実に親切にタクシーを呼んでくれる。
空港でウロウロしているロコには頼まないこと。
問題なくホテルに戻る。

城取博幸の

北マリアナ諸島米国自治連邦区 ロタのスーパーマーケット見聞録

2011年 11月

城取フードサービス研究

城取 博幸

<http://www.shirotori-f.com>

ロタ島の概要

- 正式名称：北マリアナ諸島米国自治連邦区
The Commonwealth of the Northern Mariana Islands
- 人口：約 3500 人
- 宗教：キリスト教
- 言語：英語、チャモロ語
- 通貨：米ドル
- 時差：+1 時間（ロタが正午のとき、日本は午前 11 時）
- アクセス：グアム、サイパンから航空便があり。飛行時間約 30 分。
- 歴史：16 世紀にマゼランによって発見され、スペインの支配下に置かれた。第一次世界大戦以降は日本の統治領。第二次世界大戦後はアメリカの統治を経て、現在は自治政府を樹立して北マリアナ諸島に一員になっている。
サイパンやグアムに比べて戦争の傷跡が少なく、現在は農業、牧畜、観光による収入が中心。

ロタ島の歴史

ロタ島（Rota Island）は、アメリカ合衆国内の自治領、北マリアナ諸島の島のひとつである。北にはテニアン島、南にはアメリカ合衆国準州のグアム島がある。

面積は 85km² で、他のミクロネシアの島々と同じくマリンスポーツやスキューバ・ダイビングなど観光が主な産業であり、日本人旅行者も多く訪れる。

スペインに次いでドイツに統治された後、1914 年に大日本帝国が赤道以北の南洋諸島を占領したことにより支配権は日本に移り、1920 年には国際連盟の委任統治領となる。

ロタ島はサイパン、テニアンに比べ島の開拓が遅れ、1934 年当時でも在住する日本人はわずか 1000 人余りであった。それでも 1935 年 12 月に製糖工場が完成し、砂糖の生産が開始された。

しかし、砂糖の生産はうまくいかず、製糖工場は三年余りで操業停止してしまう。

太平洋戦争中は同島では地上戦は行われず、周辺から孤立した状態に置かれた。1944 年になると守備隊が増強され、最終的に海軍 2000 名（第五六警備派遣隊、設営隊、航空隊基地要員）、陸軍 950 名に至る。

設営隊がいたため、大工、鍛冶屋、理髪、縫製などの専門家に事欠かず、演芸部も編成され、毎日のように空襲を受けながらも比較的平穏な日々が続いた。

1945 年 9 月 2 日、ステント米海兵隊大佐が率いる駆逐艦が投錨し、アイオワ級戦艦「ミズーリ」で行われた日本の降伏調印式より 1 時間遅れた午前 11 時、局地降伏調印式が行われた。9 月 4 日、日本海軍 1853 名、日本陸軍 947 名がロタ島を離れた。戦死者は海軍 152 名、陸軍 84 名だった。

戦後は国際連合によるアメリカ合衆国の信託統治下となり、1978 年以降はアメリカ合衆国の自治領となる。

ロタ島には日本統治時代を思わせる赤煉瓦造りの製糖工場跡や太平洋戦争時の旧日本軍砲台跡などが今なお残されている。

ロタ島へ出発

サイパン空港に着いて、ロタ行きの航空チケットが取れない理由が分かる。

ロタ島には、フリーダムエアーの 30 人乗りの双発機がいつも就航していたが、その飛行機が修理中で、その代りがたったの 8 人乗りの双発機が現在就航している。

その飛行機がサイパン→ロタ島→グアムに飛んでいるのだ。ロコ（ローカル）を優先しているので、観光客の人数は限られる。

「ツアーなど企画できる訳がない」ことが分かった。

朝便は 4 人のロコと私の 5 人。すなわち、サイパン側からの観光客は私 1 人。

翌日は就航していないため、日帰りツアーとなる。

飛行機は古く、コックピットの計器は全てデジタル表示ではなくマニュアル表示。

ベニヤ板を使った機内の造作も一昔前のものだ。デジタルに変えてしまうと修理ができるメカニックがいないのであろう。

古い車が走っている国は、飛行機もそれと同じく古いという共通点がある。

飛行時間は約 30 分。飛行機を降りてもタクシーらしき車はない。

周りの視線が気になる。

どうやって島内ツアーに参加するのかと考えつつ、近くのレンタカーのカウンターの女性に島内で一番大きなホテルである「ロタリゾートに行きたい」と伝えたと、携帯電話で連絡してくれた。

「電話を代われ」と言うので、代わると女性の日本語で「宿泊予約はお受けしておりませんね」といわれるので、「宿泊はしませんが、観光ツアーには参加したい。」と伝えたと、「迎える車を回します」との返答。これで一安心。

王様、大名ツアー

「ロタ・リゾート&カントリークラブ」は、かつては日本資本であったが、現在は韓国資本が経営しているロタ最大の 18 ホールのゴルフ場を持つリゾートホテル。

ホテルに到着すると、日本人の女性（佐藤さん）が「おしぼりを持って出迎えしてくれた」「本当は一泊したいのですが、翌日のフライトがないため、夕方の飛行機でサイパンに帰ります。それまで島内ツアーを企画していただけますか」とお願いする。

他にゴルファーや客らしき人は 1 人も見かけない。大型飛行機の修理で、ロタまで来ることができずキャンセルが相次いでいるらしい。

どうも、今日は私が 1 人借り切った「王様ツアー」のようだ。

ラッキーである。苦労したかいがあった。

ツアー企画を組んでもらう。

島内の観光地や戦争時代の遺産を見るツアー。昼食付きで 81 ドル。

まず、昼食（料金込み）をとってそれから出発、勿論レストランは貸し切りである。

ロタ島の観光地

スイミングホール

まず、ロタへ行ったら誰もが訪れるスイミングホール。岩礁がせき止め、海水と淡水とがまじりあった天然のプール。

ロタ島は、山から天然の伏流水が湧きでていて、水道の水がそのまま飲める。パラジウム水など水を詰めているメーカーが 2 社ある。

製糖工場跡地

日本統治時代に、砂糖王と呼ばれた「南洋興発」の社長「松江春次」が建設した製糖工場跡地。レンガ造りの工場とサトウキビを運んだ機関車が残っている。だんだんと風化しているが、見る価値あり。よい水があるため、焼酎の製造にも挑戦したがうまくいかなかったらしい。

「東京苑」TOUKYO EN

一泊できたら、訪れようと思っていた日本食レストラン。

外観は日本の居酒屋そのもの。

マサコさんハウス

テレビでよく特集されている、自給自足に挑戦している日本人夫婦が住んでいる住宅。

右側が畑になっている。

ガイドの話によると、マサコさんは釣りが趣味で、毎日釣りに出かけているらしい。

もし、釣りをしていたら少しでもお話ができるかと探したが、海岸にはいなかった。

釣れる魚はアジが多いようである。マサコさんは「アジのたたき」「アジフライ」「アジの南蛮漬け」などを食しているのか。

千本ヤシ林

第二次世界大戦後にアメリカ政府が植えたもので、ヤシの実はどこでも自由に持ち帰れる。
近くには、「フルーツコウモリ」の生息地もある。

ロタ島の珍味

「フルーツコウモリ」地元の人は昔から食べているが、現在は捕獲禁止になっている。
そのままスープにする。

「野生のやぎ」地元では「チカ」と呼んでいる。かつてスペイン人が島に持ち込んだものが野生化した。山羊の肉は、日本では奄美地方で「刺身」で食べられている。
「ヤシ蟹」雑食であるため、捕まえて1週間くらいヤシの実だけを食べさせるとさらにいおしくなるらしい。これは、地元情報。

ロタ島



双発のセスナ機



機内



ロタ島



ロタ空港



島内



ロタリゾート



ホテルフロント



ツアーの車



スイミングホール



スイミングホール



水工場看板



ロタホテル



タガストーン



タガストーン



製糖工場跡



機関車



製糖工場跡



製糖工場内部



ビーチ



東京苑



東京苑



マサコさんハウス



マサコさんハウス



畑



ロタ島へ行きましょう！

私が今回大変お世話になった、「ロタ・リゾート&カントリークラブ」の、フロントオフィススーパーバイザーの、佐藤知美さんは、「ロタに来たらハマりますよ！ グアムやサイパンで失われた自然や生活が、まだ残っていますよ！」とまるで自分の国を自慢するように話す。

人々は気さくで、人なつこく、親日的、何か、日本の奄美諸島に来ているような印象を受けた。ロタ島の人々には、かつて日本の先輩方が大変お世話になりました。

今、観光客の減少で苦しんでいます。12月29日、日本からチャーターの直行便が来ると島の人々は大変楽しみにしています。しかし、直行便の回数も年々減っているようです。グアム、サイパンから飛行機でたった30分の距離です。

余談ですが、何かわかりませんが、ここ数日私のブログのアクセス数が異常といえるほど

増えています。年末年始を控えてこの地域に来られる方が多いのでしょうか。

もし、ロタ島に興味があれば是非、是非訪れてみてはいかがでしょうか。

苦勞してでも行く価値はあります。

そのうち30人乗の大型機の修理も終わりツアーも復活していると思いますから。

「ロタ島はかつて自給自足の島であった」

ロタはもともと自給自足をしていた島である。グアム、サイパン、テニアンの中で唯一現在でも天然水を飲むことができる。高い山があるため、伏流水が豊富に湧きでている。

水のベンディングメーカーは2社あり、「R o t a」のブランドで島外にも輸出しています。

戦前は日本が統治していたため、日本人が島民に農業の仕方を教えた。

砂糖王と呼ばれた「南洋興発」の社長「松江春次」が建設した製糖工場の跡地があり、サトウキビの栽培を行っていたが、サトウキビの栽培はいまいくらず、3年ほどで生産を中止したらしい。

焼酎の製造にも挑戦していたようである。

島の西部にあるソンソン村が主な町であるが、観光客の減少と、過疎化により人口は大幅に減っているらしい。ロタの人口は、3500人といわれているが、現在は3000人を切っているようです。

ロタのスーパーマーケット

島の西側のソンソン島には、「ハーベスト・ストア」「ラッキー・ストア」「アニーズ・コンビニエンス」の3件の食品を扱う店がある。他にも何件かあったがすでに閉店している。

グアムからも3階建(100坪×3階)の大型店も出店したが、撤退して今は空きビルになっている。

ハーベストマーケット

村の中心にある100坪以下のスーパーマーケット。生鮮食品は、野菜、くだもの以外はすべて冷凍品、冷凍商品である。フタ付きの冷凍ストッカーに陳列されていて、客がフタを空けて商品を取りだす。

海に囲まれているため、鮮魚を売っているかと思ったが、島の周りで獲れる魚は扱っていない。ガイドに聞くと「必要な魚は自分で海に釣りに行くため、店で買う必要がない」とのこと。魚を多く捕まえて売るといふ産業、「漁業」がないのだ。

余分には獲らないため、常に海にはアジなどの魚が豊富にいるようだ。

米はカルフォルニア米とタイ米を販売。価格は1kg 10ドルくらいであったと記憶している。米はよく食べるようである。

小型店の割には、紙皿、紙コップなどの日本でいう「行楽用品」の売場が広い。それだけ、「BBQ」などのパーティーが多いようである。

「ソンソン島は一つのファミリー、BBQには誰が勝手に加わっても問題ない」とガイドはいう。昔の日本の「村社会」と同じである。

「日本人が1人来たぞ」という私の情報も、すでに島じゅうに広がっていた。

ハーベストマーケット



店舗外観



店内



地元野菜売場



雑貨売場



冷凍食品



冷凍食品



アイスクリーム



冷凍肉



タイ米



タイ米



パーティー用品



ドライ食品



輸入タマネギ



やきたてパン



地元野菜

ロタのラッキー・ストア本店

ロタ島に2店舗を持つ地元スーパーマーケットの本店。支店は空港からロタ・リゾート&カントリークラブに向かう道の左側にある。オーナーはロタ島でホテルも経営している地元の名士である。

店は100坪強ほどの広さで、地元の野菜とパン、他の商品は主にアメリカやフィリピンから輸入している。

入口を入ると、袋に「小分け」された米、穀物、家畜の餌、ペットフードが販売されている。バナナはフィリピン産と地元の加工用のものと両方置かれている。

ここは、島の中でも大型店であるため、リーチインの冷蔵ケースも置かれチルド商品も販売している。

パパイアのスイートピクルスと料理用バナナを試食

島で採れた野菜や果物は、スイートピクルスにして保存、販売されている。スペインの植民地であったためか、スペインの食文化が広がったのであろう。日本の漬けものは根づかなかったようである。大根のピクルスもある。店内で代金を払って試食する。

ヤングパパイアのピクルスは、たくあん漬けと同じ食感で意外とおいしかった。

タイの「パパイアサラダ」のような料理もあるという。

料理用バナナは完熟で、日本で食べるバナナよりおいしかった。加熱してデザートを作るとさらに甘くなるようである。

最後は、「かみタバコ」名前は忘れたが、ロコがチューイングガムのように口に入れて噛んでいる木の実。最初は赤い汁が出るが、それは吐き出す。

渋みがあり、少し口の中がしびれる。よくアジアの店のレジ前で売られている。

ロタのラッキー・ストア本店



店舗外観



店舗看板



店舗入口



小分けされた米



穀物、ペットフード



スイートピクルス



ドライ食品



パーティー用品



ドライ食品



店内



リーチインケース



噛みタバコ

アニーズ・コンビニエンスストア

2000 人ほどの村に、グアム資本が 3 階建の大型店を建てる。

日本でもよくある話である。しかし、今はその外資小売店も撤退している。小さなアニーズのコンビニエンスストアは今も残っている。地元野菜やパンも販売している。

中はコンビニというよりは、30 坪程のミニスーパーマーケットである。

そこには、日本のローカル小売業の生き残りのヒントがある。

ローカルの小売業の生き残りは、「村社会経済の復活」「6 次産業化」「地域自給の強化」「地産地消」「共存共栄」「地域ブランド」「地産他消」がキーワードとなる。

大手資本が、閉鎖市場に参入した場合、設備投資が行われ、地元民の雇用も行います。

一見よいように見えるが、しかし、お金が循環するのは島内だけです。

外資企業が黒字であれば、お金は島から外へ出て行きます。島の住民の生活は少しずつ苦しくなる。

逆に赤字であれば、店舗を運営するために外から資金が入ってくる。赤字であれば、従業員の給料分など島は少し潤う。

答えは誰が考えても分かることです。店で働く島民は「後者」を選択するに決まっています。モチベーションが上げるはずがありません。

結局、外資は赤字の垂れ流しに耐えきれず撤退する訳です。

「地産地消」「地域自給」だけでは、地元の生活は益々苦しくなる。

島のお金を外に出さず、島内で循環させることは重要ですが、人口が減少し続ければ、島民の生活は益々苦しくなります。ロタ島の時間給は 3 ドル～5 ドルといわれている。アメリカの二分の一以下です。それに対して、電力は火力発電で、電気料金は 1 カ月 300 ドル～

400 ドルもかかっている。人口が減ればそれ以外の負担が増えることになります。

「F（フード）E（エネルギー）C（ケア）地域自給」のバランスが崩れる訳です。

原始的な生活に戻れば耐えきれますが、今の時代そうはいきません。

「地域ブランドの開発」と「地産他消」

島外からお金を呼びこまなければなりません。第一次産業、第二次産業の少ないマリアナ諸島は、第三次産業の観光だけに頼っていたが、観光客の減少はかなり島にとってダメージが大きかった。

しかし、ロタ島には「バナジューム水」という素晴らしい資源が眠っていた。その水を産業化することに成功した。グアムのホテルでも「R o t a」の水が置いてあった。

1 ドル以下の安い水は、フィリピン、中国、台湾の輸入品。

日本で言う「一村一品運動」（馬路村のゆず加工品など）、「一島一品運動」（喜界島の黒糖など）がここでも起きている。

テニアン島では「テニアンペッパー」に取り組んですでにブランド化している。

ガイドに「ロタでビジネスに失敗した人たちはどうしているのか」と尋ねると、「島を出る」、「しかし、また成功して島に戻ってくる」という。それだけロタは魅力的なのだ。

島の人々が本気で、一次産業、二次産業に取り組まない大きな理由を突き止めた。それは、あとで説明します。

アニーズ コンビニエンスストア



店舗外観



店内



コンコース



冷凍食品



やき立てパン



撤退した外資物件

ロタからサイパンに戻る

厳しいセキュリティチェック

2 時間前にロタ空港に着き、搭乗手続きを行いセキュリティチェックへと向かう。

このチェックが異常なまでに厳しい。手荷物は全て外に出し 1 品 1 品調べ、ボディチェックは、手袋をはめて全身を調べる。ベルトの裏まで丹念に調べる。最高レベルのチェックである。

係員は、ローカルの間人ではないようである。2014 年の U S A 化に向けてのマニュアルの徹底であらう。

1 時間前にサイパンへ出発

乗客は、ローカルの間子連れと女性と私の合計 4 名。待合室にいと、1 時間前なのにすでにグアムからの飛行機は到着していた。乗客が揃ったので 1 時間前だが出発するという。

女性は「ラッキー、ラッキー」と喜んでいる。日本では考えられないことだが、まあそこはローカルルールに従う。

サイパンに戻る。翌日は、サイパンからテニアン島に向かう予定だ。

城取博幸の

北マリアナ諸島米国自治連邦区 テニ안의スーパーマーケット見聞録

2011年 11月

城取フードサービス研究

城取 博幸

<http://www.shirotori-f.com>

テニアン島の概要

- 正式名称：北マリアナ諸島米国自治連邦区
The Commonwealth of the Northern Mariana Islands
- 人口：約 2600 人
- 面積：100 平方 km
- 宗教：キリスト教
- 言語：英語、チャモロ語、カロリン語
- 通貨：米ドル
- 時差：+1 時間（テニアンが正午のとき、日本は午前 11 時）
- アクセス：サイパンよりセスナ機で約 10 分。高速フェリーは現在運休中。
- 歴史：16 世紀にマゼランによって発見され、スペイン、ドイツの支配下に置かれた。第一次世界大戦以降は日本の統治領。第二次世界大戦後はアメリカの統治を経て、現在は自治政府を樹立して北マリアナ諸島に一員になっている。

サイパンからテニアンへ

現在、サイパンからテニアンまでのフェリーは就航していない。

テニアン島には、フリーダムエアーとマリアナエアーの 2 社が小型機を飛ばしている。

飛行場は、サイパン空港を背にして、右側に進めば別の建物に小さなカウンターがある。

テニアン空港は管制塔がないため、大型機やジェット機の発着ができない。

アナログの古い 6 人の乗りのセスナ機で、約 10 分で到着するが、いつもスリリングなフライトである。

自分の子供が小学生の頃に乗せたが、必ず「固まる」

「これ、ヒビ割れじゃないですか？」

もう 10 年前からこのセスナ機に何回かお世話になっているが、その時から機種は新しくしていない。

よく言われるのが、「この古いセスナ機はいつまで使うんですか？」と聞くと、

「はい、落ちるまで使う予定です！」と平気で答えるのが、現地のジョークである。

それにしてもあまりにも古すぎる。エアコンが着いていないため外から風を入れるため、操縦席と反対側に座る乗客は、風圧でドアが閉まらないよう、滑走路ではドアを開けたま

ま抑えるのが役目だ。

いつものようにドアを手で抑えようとしていると、「必要ありません」といわれる。

手で抑えなくとも、もうドアは風圧で「ボタン」と閉まることがないほど老化している。ブログに載せようと写真を撮っていると、フロントガラスに 1 本ゴミのようなものが着いている。よく見ると、「ヒビ割れ」のようである。

たまたま、日本人のパイロットであったので、降りる時に「これヒビ割れですよ！」と尋ねると、「そうです！ よくあることです！」と平然と答える。

「こいつら、このセスナ機本気で落ちるませ飛ばす気だぞ」と実感する（笑）

「皆さん、テニアンに行きボロセスナを体感しましょう！」

最初は、どこのアトラクションよりも、スリリングですよ。

テニアン島の歴史

先史時代～スペイン統治時代

テニアン島は、かつて先住民族のチャモロ人が「自給自足」の暮らしを送っていた。

マリアナ諸島は、1521 年のマゼランの世界一周航海の途上に発見された。

19 世紀の中頃からはスペインにより同島は牛や豚の放牧地となったが、後に放棄されテニアンは野生化した家畜のみが住む島と化してしまった。

ドイツ統治時代

ドイツ統治時代のテニアン島米西戦争でのスペイン敗北を契機に、1899 年、スペインはテニアン島を含む北マリアナ諸島の支配権を 450 万ドルでドイツに売却した。

ドイツのサイパン島庁はテニアンで野生化した家畜を有効利用すべく、「ハム工場」を建設するが、結局失敗に終わった。テニアンで得た牛や豚はサイパン産の牛や豚の 3 分の 1 で取引され、島民用の食肉となった。

日本統治時代

第一次世界大戦でのドイツ敗北を契機に支配権は日本に移動した。

1920 年には、国際連盟より正式に日本の委任統治領となる。

日本の統治となりテニアンで初めて本格的な開発が行われ、1916 年 11 月には最初の移民である日本人 4 人とサイパン島民約 20 人が移住し、森林の伐採と開墾に従事した。

1926 年（大正 15 年）にテニアンの開発を請け負った「南洋興発」は沖縄や福島、山形などから移民を集め、ヤシに代わって砂糖やコーヒー、綿花の生産を開始させた。

その結果、昭和初期にはテニアンの砂糖の生産量は、台湾に次いで東洋第二位の生産量となるまでになった。

その他にも同島では鰹漁が盛んとなり、島内には鰹節工場もあった。

1944 年 6 月時点での人口は日本人 15,700 名（軍人を除く）、朝鮮人 2,700 名、チャモロ人 26 名であった。

太平洋戦争

太平洋戦争中は島北部に当時、南洋諸島で一番大きい飛行場である「ハゴイ飛行場」があったことから日本軍の重要な基地となり、軍人の駐屯は陸海軍合わせて約 8,500 人に達した。米軍はテニアン島の戦略的価値の高さに注目し、1944 年 7 月 24 日に北部のチューロ海岸から上陸、8 月 2 日に同島を占領した（テニアン島の戦い）。

その後、「ハゴイ飛行場」は拡張整備され、本格的な日本本土空襲を行う基地となった。

1944 年（昭和 19 年）11 月以降、連日のように日本に向かう B-29 がこの島を離陸していた。

1945 年（昭和 20 年）8 月 6 日の広島、8 月 9 日の長崎への原爆投下作戦の B-29 もここから発進した。

戦後

1947 年にグアムを除く北マリアナ諸島はアメリカの信託統治領となった。

1948 年にはサイパン島やロタ島、ヤップ島よりチャモロ人やカリフォルニア人約 400 人が再び移住し、1950 年代に現在のテニアン島の中心地である「サン・ホセ」を建設した。

現在の人口は 3,000 人以下である。

マリンスポーツや中国資本のカジノホテルが建ち、観光の島となっている。

テニアン島の思い出

私は、テニアン島は 15 年前からよく訪れています。娘二人は、別々に連れて行き戦争の傷跡も見せています。

一番の思い出は、13 年前に、食業界の「日配の教科書」初版の原稿を書くために 10 日間、合計 40 日滞在したことがある。ホテルスタッフはとても親切にしてくれた。それから何回か訪れている。

今でもそれを覚えてくれているスタッフがいて、昔の懐かしい話をよくする。

当時は、日本から慰問団もよく訪れていて、慰霊碑にはよく花が飾られていた。

しかし、最近は高齢化から、日本からの訪問者も減ってきている。



ボロセサナ機



アナログな操縦席



旧日本軍 滑走路



米軍電波塔



テナン空港



空港前



タガストーン



戦争慰霊碑



日の出神社跡



米軍上陸地点



チェルビーチ



牛の放牧

テナンのスーパーマーケット

かつて、日本の「名鉄フレミングホテル」の隣に、「名鉄フレミング・マート」が長く営業していたが、2カ月前に閉店したという。「名鉄フレミングホテル」は2005年に売却されている。

その代わりに、中国系のスーパーマーケットが別の場所に2件オープンしている。

日本人の観光客が減り、中国人の観光客や住民が増えて「市場の変化」が起きているのだ。

「フレミング・マート」はその市場の変化についていけず、市場から撤退したのである。

最近、中国人が、テナン島に住み、主に農業を行うようになった。そこで採れた農産物を、中国系のスーパーマーケットでも販売する。

第二次世界大戦前のテニアン島は、日本の統治下にあり、そこで「南洋興発」のサトウキビ畑があり、日本人や韓国人が約2万人も住んでいた島である。

戦争中は、マリアナ諸島の30万人の日本人のために農産物などの食糧を生産した歴史もある。

戦後は、アメリカの管理下になると同時に農業は衰退し、アメリカから多くの食品が持ち込まれるようになる。

それが最近では、中国人が野菜を作り売る、テニアン島独特の「地産地消」が復活するようになった。そうした流れの中、日本資本の「名鉄フラミング・ストア」は閉店したのだ。

戦後、日系企業がテニアン島で肉牛の牧畜がおこなわれ、確か協和発酵であったと記憶しています。かつての日本軍の通信基地跡が屠殺場になっていた時期もあったが、それも現在は廃墟になっている。

牧場は現在も営まれ、その肉はサイパン島に送られているらしい。

マリアナ諸島の農業が衰退した理由

あくまでも私見であるが、「アメリカの食糧戦略」「軍事基地戦略」があったと考えられる。

テニアン島は、日本人が森林の伐採と開墾し農地を作り農産物を生産した。

台湾に次ぐサトウキビの生産量であったことから、かなりの農地がテニアン島にはあったはずである。

本で読んだ記憶だが、戦後、アメリカはその農地に、農地には敵であるトゲのある、根を広く張る、大きくならない植物の種を飛行機でまいたとされている。

テニアンの農地を破壊したのだ。アメリカからの輸入品だけでも十分生活でくる。グアム、サイパン、ロタでも同様なことが起きている。

テニアン島の農業の衰退は、労働人口が急激に減ったことも大きな理由でもある。

その代わりに、住民に対して十分な社会保障を行い、働かなくても食べていける最低限の環境を作り、住民の「無気力化」を図ったともいえる政策をとった。

子供手当も1人1カ月200ドルが支給されているのもその一つである。

それにより、現地の人はいあまり働かなくなったことも事実だ。

マリアナ諸島には、大富豪もいなければ、ホームレスも存在しない。

第一産業、第二産業を発展させず、フィリピンのように経済力をつけて自立独立ができないよう、第三次産業だけを育成し、経済力をつけた地元の資本家の台頭を恐れ、アメリカの統治下として、テロリストも反政府運動も行わない住民を育て、軍事基地として安定した島内政治を目指したのではないかと考え

られる。

しかし、最近のサイパンやテニアンは、外国人労働者や違法滞在者が増え、軍事施設を持つアメリカにとっては、テロの問題など都合の悪い問題が発生してきている。そこで、「アメリカ自治連邦区」から「アメリカ合衆国準州」を図ったのであろう。

農業や工場を建てて経済力をつけたり、違法滞在者が居座ってもらっては困るのだ。

中国人が農業を始める。

原住民はもともと農業を行い、さらに日本人が農業を発展させ、アメリカが農地を破壊する、中国人が再び農業を復活させるという歴史である。

アメリカからの輸入商品を扱っていた、名鉄フラミング。

ストアが閉店する代わりに、中国系のスーパーマーケットができて、そこで、アメリカ製品、中国製品やフィリピン商品、地元の野菜や果物を販売しているというのが現況である。

テニアン HUANG SHUN CORP

2階建ビルの1階にあるスーパーマーケット。

入口は分かりづらいが、意外と店内は広い。拡張、拡張が進んでいるため、店内は複雑な構造になっている。

商売の基本である、小さくスタートして、状況に応じて店を徐々に拡大している。

野菜、くだものは地元の物を中心に充実している。

肉、魚は冷凍食品で、どうやら店で段ボールから袋に小分け作業を行っているようである。フタ付きの冷凍ケースで販売している。

フタ付き冷凍ケースを使う理由は、テニアン島に限らずマリアナ諸島は、台風が上陸すれば、すぐに停電になってしまうことから、保存性の高い什器を使用していると思われる。

パンは販売しているが、デリカ売場などはない。チルド商品は多段オープンケースとリーチインケースの両方で販売している。

テニアン名物「テニアンペッパー」のコーナーもある。「どれが一番売れているの？」と従業員に尋ねると、「これがナンバーワンだと」左から二番目の商品を推薦してくれた。

価格は6ドルくらいであった。

ドライ食品や菓子類、雑貨類は必要なものはほぼ揃う品揃えである。

売場では自転車なども販売している。

ドライ食品の陳列商品のフェイスは広く、納品数量（ケース）がそのまま売場

に陳列されているようである。バックヤードスペースなどはあまりなかった。
そんなスパースがあれば、売場にするという考えであろう。
サービスカウンターを兼ねたレジは1台、たばこなども販売している。

テナン HUANG SHUN CORP



店舗外観



店舗入口



店内



雑貨売場



レジカウンター



チルドリーチン



冷凍食品ケース



くだもの売場



チルド商品



冷凍肉



冷凍肉



冷凍魚



自転車も販売



ドライ食品



テナンペッパー

テナアン 紅天商店

生の豆腐まで品揃えする本格的なスーパーマーケット。

HUANG SHUN CORPに比べて2倍ほどの大きさである。継ぎ足し、継ぎ足しの複雑な作りであるが300坪ほどの広さはある。

小さくスタートして、状況に応じて店を徐々に拡大していくという商売の基本が貫かれている。

店内加工がさらに進んでいる。アメリカからの輸入野菜はすでにパックされているが、地元の野菜や魚は自店でトレーパックしたり、袋に入れて商品づくりを行っている。袋に入れた生の豆腐も品揃えされている。

ごく小規模ではあるが、一次産業と豆腐工場などの二次産業が育ちつつある。

冷凍ケースは「SUILING」と書かれたメーカーのものがよく使われ、10本くらい使われている。フタ付きの冷凍ケースとオープン平ケースを併用している。

パンも冷凍で販売されている。ここもデリカ売場はない。

日本の、「カール」や「カラムチョ」などのスナック菓子も販売されている。



店舗入口



店内



手前にショッピングカート



冷蔵リーチインケース



ドライ食品ゴンドラ



チルド商品



冷凍食品平ケース



冷凍食品オープンケース



透明のスライドのフタ



青果売場



地元野菜



地元産トマト



アメリカ産野菜



袋入りの生豆腐



フルーツ売場



冷凍魚



冷凍カニ、エビ



冷凍パン



冷凍肉



冷凍肉 小分け



日本のスナック菓子

城取博幸の

北マリアナ諸島米国自治連邦区 サイパンのスーパーマーケット見聞録

2011年 11月

城取フードサービス研究

城取 博幸

<http://www.shirotori-f.com>

サイパンの概要

- 正式名称：北マリアナ諸島米国自治連邦区
The Commonwealth of the Northern Mariana Islands
- 首都：ススペ
- 人口：約 6 万 9000 人
- 面積：約 477km²
- 人種・民族：チャモロ人、フィリピン人、中国人、その他
- 宗教：キリスト教
- 言語：英語、チャモロ語、カロリン語
- 通貨：米ドル
- 時差：+1 時間（サイパンが正午のとき、日本は午前 11 時）
- 歴史：16 世紀にマゼランによって発見され、スペインの支配下に置かれた。第一次世界大戦以降は日本の統治領。第二次世界大戦後はアメリカの統治を経て、現在は自治政府を樹立して北マリアナ諸島に一員になっている。

サイパン島の歴史

サイパン島（サイパンとう、Saipan, 漢字表記：彩帆）は、アメリカ合衆国の自治領である北マリアナ諸島の中心的な島であり、首都ススペ（Susupe）も同島にある。

スペイン統治時代

1521 年 3 月 6 日にマゼランがヨーロッパ人として初めてマリアナ諸島を発見し、1565 年にはマリアナ諸島の領有を西欧諸国に布告した。それ以降 3 世紀に渡りスペインの統治下にあった。

1695 年にスペインはサイパン以北のマリアナ諸島の先住民をサイパン島に強制移住させたが、それらの島民も 1698 年にサイパン島に元からいた先住民と共にグアム島へ強制移住させられ、サイパン島は一時無人島となった。

1815 年にはカロリン諸島のサタウル島から酋長アグルブに率いられた一団が移住し、更にスペインはチャモロ人の帰島を認めたため再び同島は有人島となった。

ドイツ統治時代

米西戦争でスペインの支配は終わりドイツに売却される。

ドイツは開拓および先住民への教育政策を放棄し、同島を流刑地に選んだ。

日本統治時代

1914 年 7 月、第一次世界大戦が勃発し、10 月 14 日には連合国側であった日本が赤道以北の南洋諸島全体を占領した。

この事に伴い、日本国内では「彩帆島」と呼称される事となる。1920 年には国際連盟の委任統治領となり、同島には「南洋庁サイパン支庁」が置かれ、サイパン島は内地から南洋への玄関口として栄えた。

1943 年 8 月の時点での人口は、日本人（台湾人、朝鮮人含む）29,348 人、チャモロ人、カナカ人 3,926 人、外国人 11 人となっていた。

第二次世界大戦 詳細は「サイパンの戦い」を参照

第二次世界大戦中は、日本軍司令部があったこともあり、

1944 年 6 月のアメリカ軍をはじめとする連合国軍の上陸の際には住民を巻き込んだの激しい戦闘によって多数の犠牲者を出した。現在でもバンザイクリフ (Banzai Cliff) やスーサイドクリフ (Suicide Cliff) など島のあちこちに戦争の名残がある。

戦後

1944 年 7 月以来、サイパン島は連合国の一国であるアメリカ軍の軍政下に置かれたが、1947 年に国際連合の信託統治領「太平洋諸島信託統治領（施政権者：アメリカ合衆国）」となった。

1981 年 1 月 9 日、アメリカ合衆国内の自治領である「北マリアナ諸島」としてアメリカ合衆国内に留まったが、北マリアナ諸島以外は次々と分離独立していった。

第二次世界大戦終戦 60 年にあたる 2005 年には、6 月 27 日から翌 28 日にかけて今上天皇・皇后が戦没者を慰霊する。天皇が史上初めて友好親善ではない慰霊目的だけの海外訪問として当地に行幸した。

サイパン島の現況

以前は、サイパンを訪問する観光客の大多数は日本人であったが、最近は日本人の渡航先が多様化した上、日本航空による直行便運休の影響もあり、日本人観光客は減少傾向にある。日航ホテルは売却された。

それに代わり、韓国や中国からの観光客が増加している。

また、アメリカ合衆国本土とは違い、両手 10 本による指紋採取が行われていないなど入国審査が緩やかであったためか、韓国の仁川国際空港などを経由して、ロシアからの観光客

も多く見かけるようになった。

ところが、2009 年 11 月 28 日から北マリアナ諸島において連邦化が実施され、それまで北マリアナ政府が担当していた入国審査を合衆国政府に移管し、合衆国本土と同じ出入国管理法が適用されるようになった。

したがって、現在は指紋採取も合衆国同様実施されており、中国人やロシア人に対しては入国ビザが必要になるなど入国審査が厳しくなった。

本来ならば同年 6 月 1 日から実施する予定であったが、住民の反対運動や連邦化への準備不足などの影響から 180 日延期された。

日本人観光客が多いことから、ホテルや免税店、土産物屋など殆どの場所で日本語が通じる。市中の商店や居酒屋、食堂などの多くは中国人や韓国人が経営しているが、片言の日本語が通じる店も多い。

ビールは、米国のバドワイザーやミラー以外に、日本・中国・韓国・フィリピンのビールが置かれている。

サイパン島で売っている緑茶には、砂糖やハチミツが入っていて甘い。

現在 55 歳以上の日本人に対して、特例でビザなしの長期滞在が認められる制度がある。

なお、韓国からは、「英語ができると将来有利である」との理由から、小学校や中学校へ母親連れで留学に来ている家族もある。

ボージョーボ人形 (BO JO BO Wishing Doll)

マリアナ諸島の先住民チャモロ族の間で古くから親しまれていた願掛け人形。

「ボージョーボ (Bo jo bo、和名ウジルカンダ)」と現地で呼ばれているツタ性の植物の種を体や頭部に使い作られている。

その手足の組み方で様々な願いが叶うとされている。

日本テレビの『ザ!世界仰天ニュース』で取り上げられてから人気商品となった。

サイパン島



サイパン島



農地が所々に見える



サイパン空港



ホテルのプール



野菜をトラックで販売



地元農産物



ヤシの実ジュース



ヤシの実の刺身



野菜の露天販売



バードアイランド看板



バードアイランド



バードアイランド



ザ・グロット



グロット入口



スイミングスポット



南洋興産社長像



プレート



トウモロコシSL



神社



神社入口



病院跡 現在博物館



日本の刑務所跡



刑務所跡



刑務所跡

サイパンのスーパーマーケット

サイパン 「ペイレス・スーパーマーケット」

Payless Supermarket

グアムに7店舗展開するチェーン店のサイパン支店

24 時間営業のスーパーマーケット。

肉や魚の生鮮食品をはじめ、パスタなどの麺類、酒類、缶詰などの輸入品がズラリと並ぶ。

店内のイメージは、「ドライ感」が強く、アメリカからの長期保存のきくドライグロサリー、雑貨、冷凍食品を中心としたスーパーマーケットだ。

300坪程の広さで、店内加工はなく、アメリカの「フレッシュ&イージー」に似た店舗である。

野菜は、セロリー、人参、キャベツなど島外からの輸入品が目立つ。葉物野菜は少ない。

グアムやサイパンのレストランの野菜サラダは、「リーフ系」のサラダは少なく、半乾燥のキャベツやセロリーを細かくカットした「コールスロー系」が多い。

乾燥した水分を、ドレッシングで補っている。

肉類は、冷凍肉とチルド肉の両方を販売している。

固まり肉が中心で、スライス肉の品揃えは少ない。チルド肉の鮮度はそれほど悪くない。

魚類は、全て冷凍魚。切り身はなく、丸魚がトレーパックされて冷凍ケースに陳列されている。

「ドライ型のスーパーマーケット」であるため、デリカコーナーはない。

店の反対側に、「フレッシュ・マート」があるが、そこは、「ウエット型のスーパーマーケット」で、両極端である。

サイパンの農業

サイパンを空から１０年以上見てきたが、最近は空から大型耕作地が増えていることが分かる。

地元のブログによると、

<http://blog.godivers.net/?eid=943782> より

『サイパンの農業関係者はグアムのアメリカ軍にサイパンで収穫した農産物を買ってもらおうと研究会が開かれている。

この計画は直ぐに始まるというものではありませんが、これが成功すればサイパンの農業にとって画期的なチャンスになります。

サイパンの農業関係者はグアムの米軍に対して農産物を供給する販売組合をつくり、競争相手であるグアムやアメリカ本土の農産物に品質の面でも、価格の面でも十分に対抗できるようなシステムづくりをしようとしています。

輸送の面でもサイパン～グアム間に飛行機を飛ばしているフリーダム航空と協議をしています。

CNMI（サイパン）では野菜はロタ島が多く作っています。

ロタ島は雨が多く、水も豊富だからです。

ロタ島の農業関係者にもこの運動を共同でするべく呼びかけています。

２０１２年に沖縄より海兵隊が移転すると、農産物に対する販売は現在の２倍の、９億－１０億になると予想しています。

今CNMI（サイパン）、グアムでは沖縄より移転する海兵隊に色々のものを買ってもらい、この地域の経済の発展を狙っています。

沖縄でも色々問題がありましたが、果たして海兵隊の沖縄よりの撤退により受ける経済的損失の影響はどうかのでしょうか？

色々考えさせられます。

市場や移動販売で農産物を販売

グアムやテニアンでは見ない光景であるが、サイパンでは、車の荷台に野菜を積み込み、移動販売をしている光景をよく見かける。

ハワイのように、曜日毎に各地域で生鮮市場も開催される。

サイパンでは農業が復活しつつある。その仕掛け人は中国人である。

サイパン 「ペイレス・スーパーマーケット」



店舗外観



店舗入口



飲料ケース販売



冷蔵陳列ケース



半乾燥野菜 セロリ



半乾燥野菜 ニンジン



半乾燥野菜 キャベツ



チルド肉



チルド肉



冷凍オープンケース



冷凍魚 小分け



魚の真空パック



冷凍品



フルーツ盛合わせ



冷凍練製品



食品ゴンドラ



冷蔵ケース



冷蔵ケース

サイパン フレッシュ・マーケット



店舗外観



大型テレビの販売



ロテサリーチキン



対面精肉売場



デリカ売場



日本商品コーナー



青果売場



葉物野菜



葉物野菜



冷凍魚



冷凍加工品



冷凍平ケース



チルド肉



冷凍肉



対面チルド肉



精肉売場の壁



小分け宣言



返金、返品宣言



精肉対面ケース



ワイン売場



クリスマス用品

サイパンの「スーパーフレッシュマーケット」

何か日本のスーパーマーケットの臭い

ペイレス・スーパーマーケットの道を挟んだ反対側に「スーパーフレッシュマーケット」があります。

入口を入ると左側に、インストアベーカリーとデリカ売場がある。

マリアナ諸島のスーパーマーケットとしては、珍しく「ウェット感のある店舗」である。

何か日本のスーパーマーケットを見ているようである。

それもそのはず、以前は、テナンにも店があった日本の「名鉄マート」で、その後は、カーメンセーフウェイ、それからスーパーフレッシュマーケットとなっている。

入口のベーカリーとデリカ売場にはイートインコーナーも併設されている。

デリカではロテサリーチキンが焼かれている。

青果部門は、ペイレス・スーパーマーケットにはなかった、新鮮な葉物野菜が数多く品揃えされている。鮮度も抜群にいい。これは、地元で栽培されたものに違いないと確信する。

さらに特徴があるのが、対面の精肉売場である。

量り売りを主体とした肉売場は珍しい。

壁には、

「ご希望の肉や必要な量があれば、言っていただければご希望に答えられるように、カットを行います。」

「100%の顧客満足を保障しています。もし、お客様が品質に満足しなければ、レシートを見せていただければ、喜んで返金または交換を致します。」

と表示。

何か、アメリカのデパート「ノードストローム」のようなことが壁に書いてある。

確かに、肉の品揃え、鮮度は抜群であった。

青果や肉の鮮度管理は、日本の「名鉄ストア時代」のDNAが生きているような気がした。

サービスとは

サイパンのホテルの「ツアーデスク」にブチ切れる

私の泊ったホテルは、いわゆる団体ツアーを扱うホテルで、ホテルの「コンシェルジュデスク」がなかった。普通フロントマンが対応するが、常にフロントに人がいて、ツアーやタクシーのチャーターなどなかなかゆっくり話ができる状態ではなかった。

そこで、日本の旅行会社でツアーを探す。

急であったため、メンバーが集まらないので、2人分払ってツアーを作ってもらう。

いわば「プライベートツアー」である。しかし、その内容は、ホテルからスタートして免税店で解散するという内容に納得がいけない。免税店からのキックバックがあるためだ。

普通ツアーは「ドア ツー ドア」でしょう。それを免税店で降ろして終わりとは。

不機嫌そうにしていると、「これで納得していただければ、キャンセルしますか？」と聞かれる。全く融通の利かないマニュアル人間である。

そこで、ムツときて「あなたは、サービスをどう考えていますか？」

と少し強い口調で言うと、そこで、彼女は仕方なく上司に電話して、私の要望を伝える。

結果は10ドルプラスで、ホテルで解散するルートに変更できた。

結局、私の要望が通った形になった。

何番がよいサービスだと思いますか

①客をおこらせないで、会社の方針に従ってもらう。

②客をおこらせないで、会社の方針を変更する。

③客をおこらせて、会社の方針に従ってもらう。

④客をおこらせて、会社の方針を変更する

結局彼女は、客をおこらせて、会社の方針を変更するという④の最悪の結果となった。

結論は、客をおこらせる前に、気を利かせて上司に電話すべきであった。

それでも、「ノー」であれば私は納得していただろう。

客をおこらせてから何をしても、高いサービスは提供できない。

サービスとは、「相手に気を配り、相手に尽くすこと」すなわち「顧客満足度を高めることである」

グアムのホテルのコンシェルジュ

サイパンからグアムに戻り、最初に泊ったホテルに、11時頃にチェックインしようとする。フロント係は部屋に入れるのは2時以降という。

そこへ、前にお世話になったコンシェルジュのキャシーが寄ってきて、ホテルのマネジャーと交渉してくれて、すぐにチェックインできるように手配してくれた。
これがサービスです。

マニュアルは重要だが、自分ができる範囲で最高のサービスを提供できるか、上司の裁量権をいかに引き出すかの交渉を行い、高いサービスを提供することも必要である。

かつては年間に50万人の日本人観光客が訪れたが、現在は20万人

2011年、日本に訪れた外国人旅行客は、11月現在で565万人である。1000万人以上の目標であったが、東日本大震災の影響で30%程減少している。

世界の国々を歩いてみて、日本のサービス業の、おもてなしの「平均サービスレベル」は、世界1位であるように思う。

ドラマ「ジャパニーズアメリカンズ」 橋田寿賀子 脚本 を見て感じたことは、戦争に翻弄されるアメリカ移民一世の苦悩を描いたドラマ。

「日本人の勤勉さへの脅威」「アメリカでも日本でも安全を保障されなかった人々 ジャパニーズアメリカンズの苦悩」

今は、日本人の勤勉さも少し薄れて、「中国人の勤勉さへの脅威」の方が強まっている。

1週間でマリアナ4諸島の旅は終わった。

結構忙しく、プールやビーチには一度も足を踏み入れることはなかった。